

寒冷地域の住宅

徒然草の有名な一節「家の作りやうは、夏をむねとすべし。冬は、いかなる所にも住まる。．．．」

この当時、本州の温暖な地域に住んだ人の家づくりは、夏の暑さを凌ぐことを優先にして、開放型で風通しの良い家をイメージしていたのでしょうか。そして冬の寒さは、炬燵や火鉢等で堪え忍ぶ覚悟でいたのだと思われます。しかし、私達の住む地域ではそうはいきません。夏は+30℃、冬は-31℃、さらに多積雪という世界的に見ても希な気象の地域です。夏はこれでもいいですが、冬は凍死寸前です。人間は、寒さに対しては非常に弱い“ほ乳類”です。

特に、〈寒冷地帯〉の家づくりは、開放型ではとても対応できません。それとは逆の閉鎖型（密閉型）の考え方が必要です。冬はストーブ等の暖房装置で家の中の室温を維持しつつ、外気の影響をシャットアウトして住まい、夏においても外気をシャットアウトしつつ、扇風機、クーラー等で涼を取ります。（開放型のイメージで開口部を開放して風通しで涼しさを得る場合もありますが、．．．）

〈閉鎖型住宅〉

- ①高気密…気密性は、隙間相当面積[C]値で表され、数値が小さいほど気密性が高い。  
C=家全体の隙間の合計(cm<sup>2</sup>)÷建物の延床面積(cm<sup>2</sup>)  
数値は、「気密測定」という検査方法で“実測”します。  
※以前は、寒冷地では2.0cm<sup>2</sup>/m<sup>2</sup>、その他の地域では5.0cm<sup>2</sup>/m<sup>2</sup>と国の基準が示されていましたが現在はありません。
- ②高断熱…断熱性能は、外皮平均熱貫流率[Ua]値で定められ、数値が小さいほど断熱性が高い。数値は気密測定と違い“実測”ではなく計算測定値で、単位は[W/m<sup>2</sup>・K]です。
- ③計画換気…第一種、第二種、第三種換気と方式があり1時間に何回家の空気が入れ替わったかを推測します。なお、閉鎖型住宅は次回に再度取り上げます。



■問い合わせ なよろっぽい家づくりの会事務局  
(NPO法人なよろ観光まちづくり協会内)  
☎01654③6711

市民の皆さまにさまざまな情報を幅広く周知できる「広報なよろ」を使用しませんか

◆掲載枠

1号広告	縦45mm×横90mm
2号広告	縦45mm×横180mm
3号広告	縦125mm×横180mm
4号広告	縦260mm×横180mm

※おおよそ3号広告は1ページの半分、4号広告は1ページ分


◆掲載金額

1号広告	15,000円 (13,000円)
2号広告	22,000円 (18,000円)
3号広告	52,000円 (46,000円)
4号広告	100,000円 (92,000円)

※()書きは、6カ月以上の継続掲載申し込みによる割引後の金額です。

■申し込み・問い合わせ

秘書広報課広報推進係 (名寄庁舎3階)  
☎01654③2111 (内線3305・3306)

大型の蛾「クスサン」の  特徴と対策について

昨年から大型の蛾「クスサン」が大量に発生しています。

「クスサン」という大型の蛾は、成虫になってからの寿命は1週間ほどですが、その間に街灯や建物の壁に卵を産みつけます。

成虫になると効果的な駆除方法がなく、卵か幼虫時に除去することが最も効果的であると言われています。

卵は越冬し春先には孵化するため、そのままにしておくと来年の大量発生に繋がってしまいます。

今一度、ご自宅の周りを確認し、家の外壁などに産みつけられた卵塊を見つけた際には、硬いヘラなどではぎ取って土中に埋めるか、または埋立ごみとして処分してください。



▲クスサンの卵塊

問い合わせ 環境生活課 (名寄庁舎1階)  
☎01654③2111 (内線3122)